

麻疹・風しん(疑い)患者の対応について

海外において麻疹が流行しており、国内においては特にベトナムをはじめとする諸外国を推定感染地域とする輸入事例の報告が増加しています。今後、輸入事例のさらなる増加や、国内における感染伝播事例が増加することが懸念されています。

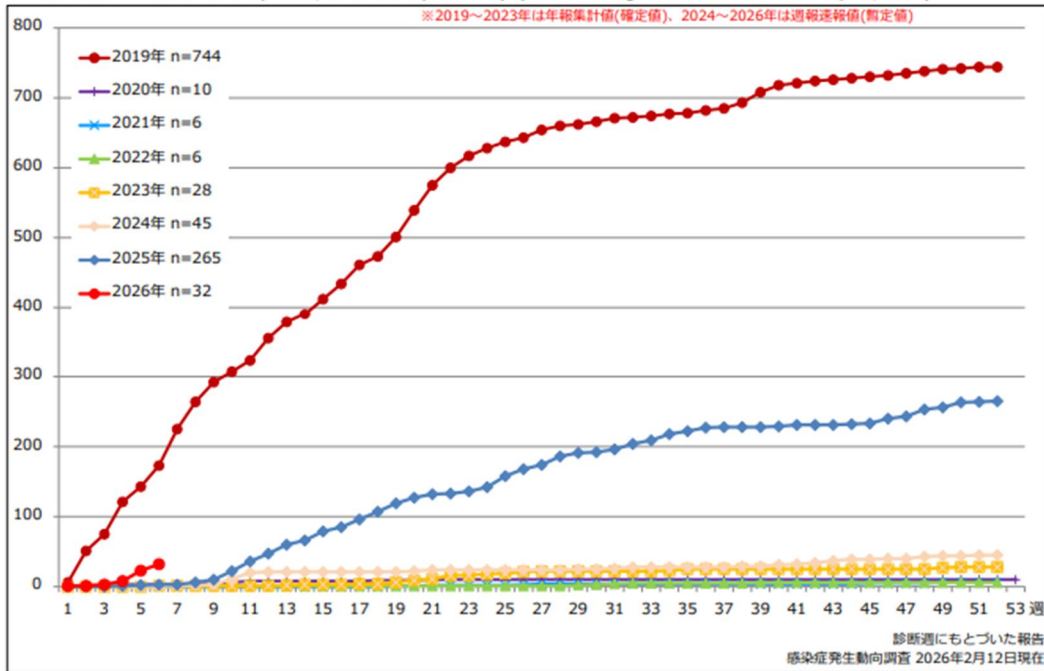
○全国及び本県における麻疹発生状況(2026年4月1日時点)

年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
全国	744	10	6	6	28	45	265	197 ^{※1}
栃木県	3	0	0	0	0	0	1	14 ^{※2}

栃木県感染症情報センターHP (<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e60/tidc/topics/mashin.html>)

1. 麻疹累積報告数の推移 2019~2026年(第1~6週)

Cumulative measles cases by week, 2019-2026 (week 1-6) (based on diagnosed week as of February 12, 2026)



国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト (<https://id-info.jihs.go.jp/>)

患者情報の提供及び検体確保にご協力ください

「麻疹に関する特定感染症予防指針」及び「風しんに関する特定感染症予防指針」に基づき、麻疹及び風しん(疑い)が発生した場合、全例でPCR検査を実施します。

- 「麻疹」または「風しん」と臨床診断、もしくは疑い患者を診察した場合は、保健所にご連絡ください。患者様の氏名・住所・連絡先・症状経過・予防接種歴等を確認させていただくことがあります。
- 尿、血液、咽頭ぬぐい液の検体採取に御協力ください。また、可能な限り血清IgM抗体検査の実施をお願いします。

<検体採取及び保存方法について>

検体種別	採取容器	採取量	保存
尿	滅菌スピッツ	5~10mL	冷蔵
血液	血算用試験管(EDTA入り)	1本	
咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で咽頭を十分に拭い 滅菌スピッツへ入れる	1本	

※検体は、原則として3種、確保してください。
 (確保出来ない場合は2種でも可)

- 結果は検体回収後5日以内にご連絡します。結果により麻疹又は風しんと診断した場合には、感染症法に基づき届出をお願いします。

